

当面の検討内容（案）

今回の調査結果や過去の漏洩事例、規格等を参考として次の項目について検討する。

1. 点検方法

調査結果等を元に、漏洩事故の防止に対し効果的な点検時期や点検方法等について、浮き屋根の部位ごとに検討する。

（1）時期

- ・タンク供用中（日常点検、定期点検、地震・大雨・暴風時等）
- ・タンク開放点検中

（2）部位

- ・ポンツーン（母材部、溶接部、構造）
- ・デッキ（母材部、溶接部）
- ・浮き屋根付属品 等

2. 補修方法

漏洩を発見した際の適切な応急措置や恒久補修の方法等について、漏洩の発生部位や程度、原因ごとに検討する。

（1）部位

- ・ポンツーン（母材部、溶接部、構造）
- ・デッキ（母材部、溶接部）
- ・浮き屋根付属品 等

（2）程度

- ・にじみ
- ・滞油 等

（3）原因

- ・疲労
- ・腐食 等

3. 応急措置の妥当性の確認

現在活用されている応急措置の方法や新しい方法等について、シミュレーションや疲労試験等によって、妥当性を確認し、応急措置の活用可能な範囲について検討する。

4. ガイドラインの作成

1～3の項目で検討した内容についてガイドラインを作成し、具体的な事件事例や補修方法を併せて示す。